

平成28年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成28年6月17日（金）
10時00分～11時30分
場 所：生涯学習センター

出席者：間宮町長、井上副町長、夏苺教育長、川野企画財政課長、石井教育総務課長、橋本子育て健康課長、二見都市整備課長、小島都市計画担当参事、米山生活環境課長、石田地域振興課長、篠原防犯アドバイザー、宇田川企画財政課副課長

事務局：湯川町民課長、清水副課長、皆木副主幹、小笹主任主事

参加者数：12人

1 開会

町民課長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

4 テーマ別説明

- (1) 後期基本計画 成長戦略について 各課長より説明
- (2) 振り込め詐欺などについて 防犯アドバイザーより説明

【質疑・応答】

- 相和小学校・幼稚園への取り組みは良いことだと思うが、それに伴って他幼稚園に負荷がかかっている。それは送迎バスである。第二幼稚園では、以前は問題なかったがバスが減ったことにより、保育時間が短くなったことで子どもたちが楽しみにしている行事ができなくなった。子育て支援とは、施設整備だけではなく、子どもたちの気持ちに寄り添うことが大事だと思う。バスが1台になったことで感じたことである。このようなことがあることを知ってほしい。
 - 第二幼稚園のバスの問題は承知しており、今後も検討していく。三園ともそれぞれ子どもが喜んでもらえるようにしていく。どのような改善ができるか、園も含めて話していきたい。ご意見として伺っておく。
 - 早番・遅番やバスを利用できる子なども課題になっているのは事実である。いろいろ検討していく。
- 相和幼稚園の通園区域の拡大により園バス問題が発生した。ただ、検討するのではなく結果が見える

ようにしてほしい。早期改善してほしい。

→ 町全体の問題として捉え、考えていく。

→ 総合的に三園を考えていく。

- 0歳から18歳までの子どもへの対策を総合的に考える課を設置しておけば、生まれてから育つまで手厚い施策をする町としてイメージ創りができる。このような施策を実施計画の中で考えていくのは大切な問題である。また、ある障がい者が転入してきて、どのようなサービスがあるか分からず、本来受けられるサービスを2年間受けていなかった。窓口での町職員の対応が悪かった。今後は、障がいがあってもなくても、一人でも救うのであるならば、きめ細かくやってほしい。他自治体でも一貫した子ども施策を実施しており、住みやすい町として思われるので、ぜひやってほしい。
 - 検討する必要があると思われるが、現在の人員の中で、新しい課を作ることは約束できない。しかし、横の繋がりや連絡をとっていく。また、今後の幹部会議の中で問題にし、反省していく。

- 転入した時に渡される資料を一覧表にして、一目でわかるようにしてほしい。子育て世代は、忙しいため、一枚でわかるようにしたらどうか。
 - 生活カレンダーや生活ガイドを渡し、案内しているが、今後も検討していく。

- 町政懇話会でのテーマ別説明をもっと短くしてもらい、質問時間を長く設けるようにしたらどうか。(仮)金子吉原地区公園みたいな公園を上大井地区にも整備するよう次期総合計画に計上してほしい。上大井駅前公園は、名前は公園というが公園の要素が含まれているのか。開成駅の東口にある公園はよく整備されている。
 - 過去に上大井駅前公園を整備したので、次期総合計画に計上するのは難しいと思う。現在検討しているのは、旧湘光園にある公園である。上大井駅前公園を整備する際には、上大井自治会と宮地自治会に協議してもらい、両自治会の意見や要望で整備した公園である。今後、公園整備に関しては上大井自治会の総意として、意見をしてほしい。

- 民生委員の人選に苦慮している。また、上大井駅敷地内に枯れている大木があり、危険なため撤去の要望を自治会から町にしたところ、自治会側からJRに連絡するようとの回答であった。これはおかしいのではないか。自治会が困っているのに、町から連絡するのが筋ではないか。
 - JRは町からの要請だけ実施するのではなく、誰からでも連絡があれば、確認や危険と判断したなら撤去するなりすると思われるが、町からも連絡してみる。

- ダイジェスト版では、後期基本計画を策定する際の町民からの意見がどのように出て、どのように活かされたか不明である。この計画を町民一人ひとりが自覚できるようにしておいた方が良いのではないか。また、財政計画においても策定しておいた方が良いのではないか。
 - ダイジェスト版では割愛しているが、本編の末尾に掲載しているので、そちらを確認していただければと思う。また、財政計画については、中期財政計画を策定しており、総合計画などを策定する際には、すり合わせを行っている。

- 秦野市から富士山の噴火に関する防災計画をもらったが、近年、富士山が噴火すると騒がれており、大井町でも降灰するとなっている。町でも噴火について、具体的に検討しないといけない。
→ 県が噴火に関する避難訓練を順次実施している。また、町でも災害に関するハザードマップなどを作製予定であるが、この意見は防災安全室に報告しておく。

- 町はホームページに掲載したというが、この少子高齢化においてホームページを確認できる人がどのくらいいるのか。その他の手段を検討しておく必要があるのではないか。
→ ホームページを確認できない方には個別に対応していく。

- 上大井駅前の駐輪場（防災倉庫周辺）で、放置自転車があり整理してほしい。
→ 確認し対応する。

- ホームページの作り方を再考してほしい。ほしい情報まで辿り着かない。
→ 見やすいホームページとなるよう検討する。

5 閉会

井上副町長より閉会のあいさつ